

# これでキミも車いす名人!!



困っている事

足が不自由な人や目が見えない人が歩けず、車いすに乗っています。車いすを利用する高れい者は手洗いや立ち上がる時にとっても大変です。だから車いすをおす人は来た時、降りた時、手助けが必要で



車いすのおし方乗方

車いすのおし方は、後ろにあるハンドルをおしたら動きます。また、段差をこえたい時は、おす人が下の方にあるレールをふむと、段差をこえられます。また、車いすには、自分の足でこいて乗れるのもあります。右のハンドルをおすと、右側のハンドルをおすと、左折することができます。

# 高れい者や車いすの人にどんな声かけをするの?



高れい者に声かけ

階段を下りる、上がる時、水がこぼれ、手を握ります。声かけ、ゆ、くり、やさしく、3つの言葉を大切にします。耳が遠い人は、聞こえるようにしゃべります。おなじいところか、あたらやさしく大きな声で言う。高れい者に声かけをする時は、ゆくりが大切です。



やさしい声かけ

車いすをおす時に大切なことがあります。下り坂では、おろすよと声をかけて後向きでおろしていきます。上り坂の時も、のぼるよと声をかけます。車いすに乗っている人として声をかけることは大切です。乗っている人の様子を、見ながら声かけをする事も必要です。

# 認知症は周りの人のサポートが大切!



できていたことがなくなる

忘れ物が多くなったり、ご飯を食べたことをわすれたり、車の場所がわからなくなったりします。時間や月日、場所がわからなくなったり、者えるスピードがおそくなったりすることもあります。急にこうなるとうる人ばかなしれずね。



まわりの人の接し方

できていたことがなくなる、なったりわからなくなると自信がなくなり、不安な気持ちになります。まわりの人がそれをいかにサポートしてあげると、おこる、こころ、人、おのせいにするなど、症状がもっと悪くなります。だから、認知症になった人にはやさしく接することが大切です。

# 中町小学校

中町小学校は、「なかまち」を合言葉にして、一人一人が目標に向かって頑張っています。「なかまち」とは、それぞれ「な 仲間を大切にする」「か 体をきたえる」「ま 学び合う」「め 挑戦する」を表し、それらを大切に学校生活を送っています。

中町小学校は、平成26年度当初に高田小学校と統合しました。校区である、高田・中町地区には、それぞれ港があり、江田島の玄関口の一つになっています。

また、南東に真道山(286.6m)、西に宇根山(野登呂山 542.0m)が連なっています。豊かな自然環境に恵まれ、住みやすいところです。

児童文学者で童話・童謡雑誌「赤い鳥」の主催者である鈴木三重吉(1882~1936年)が「千鳥」発刊のために滞在していたというゆかりの地でもあります。



# 発見! 江田島のみりよく

# ~やさしいまち~



江田島市は、広島湾に浮かぶ江田島・能美島といくつかの島からなる市です。瀬戸内海では、4番目の大きさを誇る島です。瀬戸内の美しい自然に恵まれ、豊かな生態系が存在します。

製作者: 江田島市立中町小学校4年生 (令和3年度版)

# 広島県江田島市



## こんなところですよ!

- ・特産物: カキやカタクチイワシなどの水産物  
みかんやデコボンなどのかんきつ類  
キュウリやトマトなどの野菜  
オリーブ、菊 など



- ・名物: 江田島海軍カレー、オリーブオイル



- ・観光: 海上自衛隊 第1術科学校・幹部候補生学校(旧海軍兵学校)  
早瀬大橋、江田島オリーブファクトリー  
真道山千本桜、江田島八幡神社  
瀬戸内の夕日



- ・イベント: 江田島市かきカキマラソン大会  
ヒロシマ MIKAN マラソン大会  
えたじま手づくり市  
江田島市カキ祭



# 高れい者の体は大変! ~生活で困っていることは何?~



体が不自由

ひざやひじが曲がりにくくなり、目や耳の働きが弱くなってきて、生活が不自由になります。目は老眼になり、小さい字が見えにくくなります。耳も聞こえにくくなり、聞きかえしたり、何度も聞きかえしたりします。このように高れい者になると、生活で困ることがふえてきます。だから、思いやりの気持ちが必要になります。



生活で困っていること

・買い物に行けない。  
・ゴミ捨てに行けない。  
・高いところにある物が取れない。  
・料理が作れない。  
・だんごのある所が見つけにくい。  
・このように高れい者になると、生活で困ることがふえてきます。だから、思いやりの気持ちが必要になります。

# あいさつは、人と人とのかけ橋



インタビューQ&A

まちづくり協議会のしば田さんにインタビューをしました。  
Q.ぼくたちにできることは何ですか?  
A.あいさつです。あいさつをすると高れい者の人たちが元気になります。あいさつをすると笑顔になります。



あいさつは大切

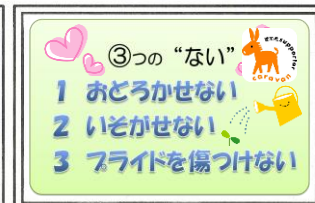
みんなが、あいさつをすると、高れい者が元気になる。地いさが明るくなります。笑顔見失い、矢張り、コミュニケーションがとれて、災害などの時に助け合えるようになります。あいさつは大切。

# 認知症の人の接し方、かかわり方とは



接し方7つのポイント

認知症の人の接し方は、  
①まずは見守る。  
②あわてず、笑顔で。  
③声をかけるときは1人で。  
④後ろから声をかけない。  
⑤やさしく話す。  
⑥おだやかなはっきりした話し方で。  
⑦相手の言葉を聞き取り、繰り返す。  
⑧認知症になった人にはおろそかに話しかけることが大切です。



かかわり方3つのない

認知症の人のかかわり方は、  
1.おどろかせない  
2.いそがせない  
3.プライドを傷つけない  
①そんな気持ちで話さない。  
②しつこく話さない。  
③時間をかけて話さない。  
できそうなことは、自分でできるように手伝いをするのが大切です。



名称 **ウミヒドラ**

〈分類〉ミドリコブ目ウミヒドラ科

〈大きさ〉3mm 木の葉の大きさ

〈食べもの〉崖の死骸 魚の死骸

〈すみか〉春は岩の中 夜になると海に泳ぎあがる



紹介します！

ウミヒドラはエビやカニと同じ甲殻類の仲間です。ミドリコブ目にはさまざまな生き物がいますが、ウミヒドラは浅い海に生息しています。夜になると崖の死骸や魚の死骸を食べ、朝になると海に泳ぎあがります。2種類の液で化学反応を起こし光を放ちます。そうすることで、仲間を見つけたり、すみかを探したりします。

ポイント！！

1. 目の押しボタンの「光」です。ウミヒドラが放つ光は美しい青色をおり、夜の海を幻想的な世界として見せます。2. 目の押しボタンは「弱く光ります」。目の押しボタンを押すと、石の表面に一年間の光を放ちます。押しボタンを押すと、光は徐々に弱くなっていきます。押しボタンを押すと、光は徐々に弱くなっていきます。

名称 **スナガニ**

〈分類〉軟甲綱十脚目スナガニ科

〈大きさ〉甲幅 25～3cm

〈食べもの〉いろいろな動物のしがい

〈すみか〉石の下をほてすんでいる



紹介します！

スナガニは、海や海水浴場などで見られます。巣穴は5cmから10cmほどの深さの穴をほらせます。時には、えだ分かれして、かしくんを作っているそうです。スナガニは、実は進めつぎくしん、ちんれんな生物なんです！！

ポイント！！

目が大きくしかも目がレリ！！ 2.5～3cmの小さくかわいらしい。じつは左右の足の大きさがちがう！！

なんとこのスナガニは走るスピードはカニ界トップクラス！！ その速さと目のよさをいかしてすばやく身をかくす！！

ひがた 観察スポット② 「干潟」

潮が多くなる満潮の時にはかくれて、潮が引いた干潮の時に現れる砂泥質の平地のことです。カニや貝などの大事なすみかになっています。干潮時にしか現れない場所なので、観察にでかける日を決めるときは、必ず干潮と満潮の時刻、潮位を調べておきましょう。



# 中町小学校

中町小学校は、「なかまち」を合言葉にして、一人一人が目標に向かって頑張っています。「なかまち」とは、それぞれ「㊦ 仲間を大切にする」「㊧ 体をきたえる」「㊨ 学び合う」「㊩ 挑戦する」を表し、それらを大切に学校生活を送っています。

中町小学校は、平成26年度当初に高田小学校と統合しました。校区である、高田・中町地区には、それぞれ港があり、江田島市の玄関口の一つになっています。

また、南東に真道山(286.6m)、西に字根山(野登呂山 542.0m)が連なっています。豊かな自然環境に恵まれ、住みやすいところです。

児童文学者で童話・童謡雑誌「赤い鳥」の主催者である鈴木三重吉(1882～1936年)が「千鳥」発刊のために滞在していたというゆかりの地でもあります。



リーフレットの感想や質問などを、お待ちしております。

↓↓ こちらまでお願いします。 ↓↓

## 江田島市立中町小学校

メールアドレス

[nakamachi-sho@edc.etajima.hiroshima.jp](mailto:nakamachi-sho@edc.etajima.hiroshima.jp)

住所

〒737-2301

広島県江田島市能美町中町2279

# 発見！江田島のみりよく

## ～海の生きもの～

江田島市は、広島湾に浮かぶ江田島・能美島といくつかの島からなる市です。瀬戸内海では、4番目の大きさを誇る島です。瀬戸内の美しい自然に恵まれ、豊かな生態系が存在します。



製作者：江田島市立中町小学校 5年 (令和3年度版)

## 広島県江田島市

こんなところですよ！

- ・特産物：カキやカタクチイワシなどの水産物  
みかんやデコボンなどのかんきつ類  
キュウリやトマトなどの野菜  
オリーブ、菊 など
- ・名物：江田島海軍カレー、オリーブオイル
- ・観光：海上自衛隊 第1術科学校・幹部候補生学校(旧海軍兵学校)  
早瀬大橋、江田島オリーブファクトリー  
真道山千本桜、江田島八幡神社  
瀬戸内の夕日
- ・イベント：江田島市かきカキマラソン大会  
ヒロシマ MIKAN マラソン大会  
えたじま手づくり市  
江田島市カキ祭

名称 **エタジマホンヤドカリ**

〈分類〉軟甲綱十脚目ホンヤドカリ

〈大きさ〉30mくらい

〈食べもの〉かい草・死がい

〈すみか〉ホンダワラ



紹介します！

2014年に江田島の海岸で初めて見つけました。ウミヒドラという生き物を食べています。ヤドカリというしゅに育つのでからをとりかえる必要がありません。ふつうのヤドカリは、体が大きくなるにつれて大きな宿をさがしますがエタジマホンヤドカリは、ウミヒドラが大きくなってくれます。夢のマイホームですね。

ポイント！！

江田島で発見されたので有名になりました。歌もあります。インターネットで調べてみて下さい。エタジマホンヤドカリは、右のほさみに(ほとんどの)とげがありません。(ほかに、非常に足が細長くウミヒドラといつものしゅです。

名称 **マテガイ**

〈分類〉マルスダレガイ目マテガイ科

〈大きさ〉全長10～12cm

〈食べもの〉植物プランクトン(藻類)

〈すみか〉干潟の泥の目かき



紹介します！

マテガイとは、北海道南部～九州北部の海の干潟にすんでいます。そして干潟の猫の目かきの形の穴の中にいます。塩分濃度にぴんぴんとした特性をもっているため、お風呂に塩をいれれば、飛び出します。広島県では5月～7月まではマテガイをとってはいけません。(季節などによる)

ポイント！！

★ マテガイのしゅ方

- ① 干潟のしゅ方穴は穴の縁
- ② 穴には盆を入り少し待つ。
- ③ マテガイが飛び出せる。
- ④ つかんだら力がぬけたら、一気に引きぬく！
- ★ サリににら味でおいしい！バターやマテガイがバターきなこバターによく合う！

いそ 観察スポット① 「磯」

岩盤が露出しており、大きな岩や石が多い場所です。岩や石にくっついて生活する生き物や、そこにかくれて生活する生き物が見られます。また、タイドプール(潮だまり)とよばれる海水がたまった場所にも、生き物が棲んでいるので見つけてみましょう。

こんな場所ですよ！！



名称 **カブトガニ**

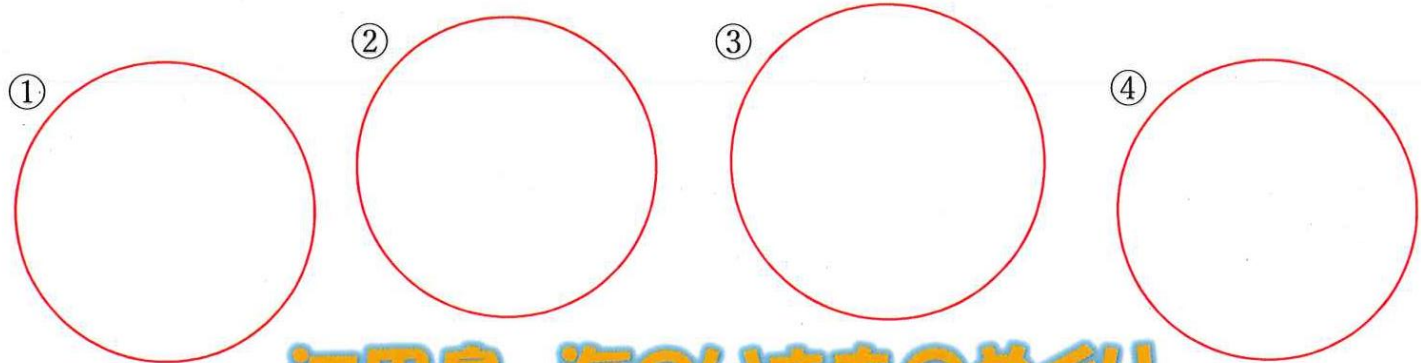
場所：地図の **7** 番です！

(分類) けんびもみ、カブトガニ科  
(大きさ) 70センチメートル  
(食べもの) ゴカイ、イカエビ、アサリ  
(すみか) 波がしずかで藻場の干潟

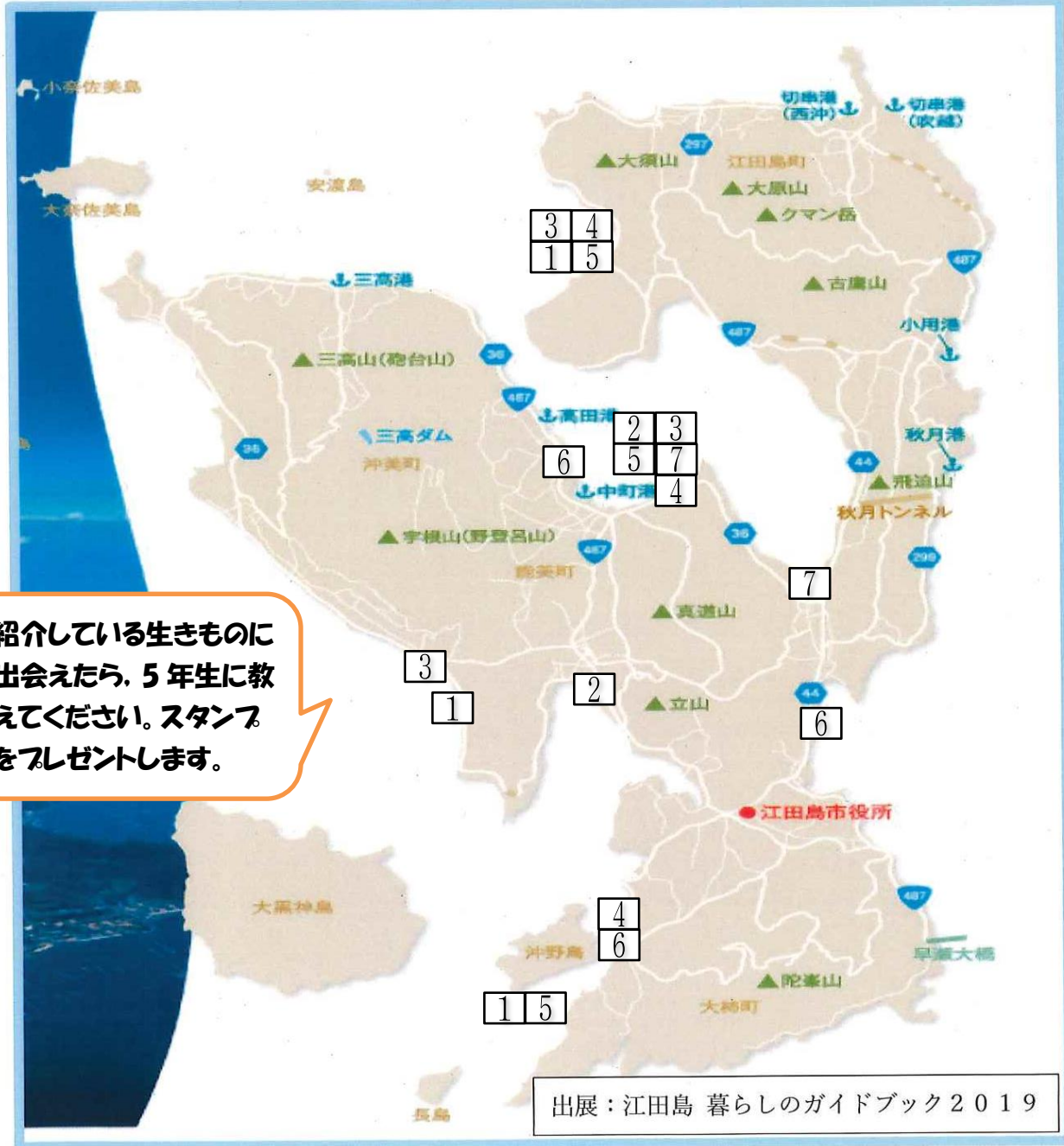


**紹介します！**  
カブトガニは絶滅危惧種。長崎県では、かなり数カ所減ってきているが、江田島湾の中には、今でも絶滅せずに生き残っている。また江田島市にあるさとうみ科学館ではカブトガニの化石を展示してカブトガニを飼育した歴史を伝えることができる。

**推しポイント！！**  
カブトガニは約2億年前からの姿をほとんど変えていません。恐竜がいた時代から絶滅することなく生き続けていることから「生きた化石」とよばれています。またカブトガニの血は薬にもなるすぐれものなのです。

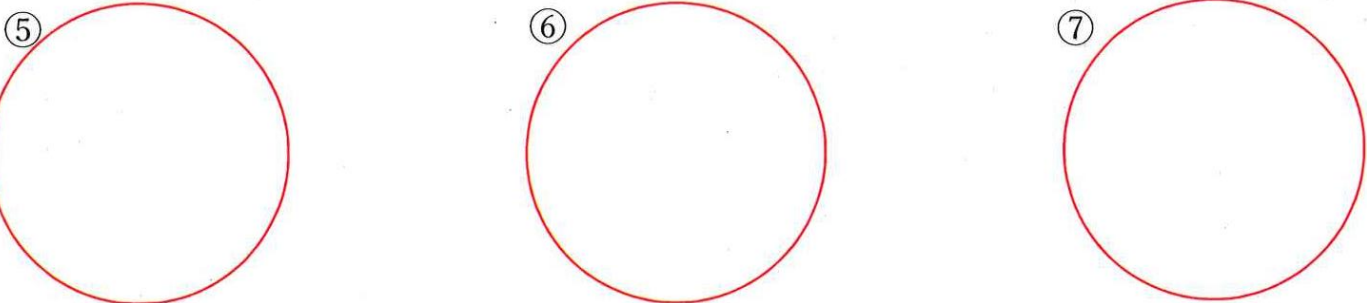


# 江田島 海のいきものめぐり



紹介している生きものに  
出会ったら、5年生に教  
えてください。スタンプ  
をプレゼントします。

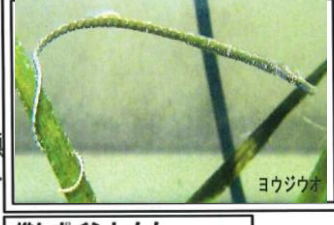
出展：江田島 暮らしのガイドブック2019



名称 **ヨウジウオ**

場所：地図の **5** 番です！

(分類) ヨウジウオ目ヨウジウオ科  
(大きさ) 20cm (最大30cm)  
(食べもの) あまみ、フナ、小魚、イカ類  
(すみか) アマモがよくしげっている場所



**紹介します！**  
ヨウジウオの生態は、体長を伸ばして海そうの中にとけこむように入り外敵から身を守ります。ヨウジウオの特長は細長い体であり、体色は茶色と緑色です。他にはヨウジウオには言い方があるのです。英語では「ガラスのイカ」というらしいです。

**推しポイント！！**  
ヨウジウオの産卵はおもしろいんです！メスが産卵し、オスがある育児のうとよばれる子育てをする袋に800~1000個ほどの卵を産みつけられます。卵を産みつけられたオスがヨウジウオが大きくなるまで子育てをするので、ヨウジウオのオスはイクメンパパなんです。

名称 **ハクセンシオマネキ**

場所：地図の **6** 番です！

(分類) エビ目スガニ科  
(大きさ) 約2cm  
(食べもの) 有機物  
(すみか) 干潟



**紹介します！**  
ハクセンシオマネキはスガニの仲間。干潟に穴を掘り、そこにオスが住み、メスが土に埋った魚の死骸や貝殻を食べて生きています。そのおかげで、ハクセンシオマネキは穴を掘るの天才です。

**推しポイント！！**  
ハクセンシオマネキの穴は、ハクセンシオマネキのきょうだんすです。きょうだんすはオスが掘りません。なぜなら、オスがメスを引きよせるためにおどかすからです。そのきょうだんすはとってもかわいいのでぜひ、いつかハクセンシオマネキを見てみたい！ハクセンシオマネキ大好き人間

## 観察スポット③ 「砂浜」

水際に広がる平地で、泥をほとんどふくまない砂地の場所です。一見、生き物の気配がなさそうな場所ですが、穴や足跡などの手がかりをヒントに調査してみましょう。穴のまわりに砂の団子ができている場所を見つけたらチャンス。スコップでほってみましょう。



## 用意するもの

- ・長くつ ・軍手 ・バケツ
- ・採集道具があると便利です。
- ・磯へら (食事用のナイフも使えます。)
- ・あみ ・スコップ など

## WARNING

こんな生き物を見つけたら、ぜったいにさわっちゃダメ！

- 背びれのとげに毒が！ 気を付けて！
- かわいい見た目！ だまされちゃダメ！ 痛みはハオコゼ以上...
- 持って帰ったら大変！ 罰金なんと... 最大3000万!!!

## 観察スポット④ 「藻場」

アマモなどの海の植物が、森林のように生い茂っている場所のことです。海の生き物が、産卵や子育ての場所としても使うことから、「海のゆりかご」と呼ばれることもあります。あみで探してみると、様々な生き物に出会えます。



こんな場所です！！